

2007 年度 小委員会活動成果報告

(2008 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	コスト管理小委員会	主 査 名：岩松準 就任年月：2007 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築経済委員会	委員長名：古阪秀三
設 置 期 間	2005 年 4 月 ~ 2009 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>建築プロジェクトの各プロセス(企画・設計・施工・維持保全)におけるコスト管理に焦点を当て、コスト管理の現状把握や国際比較による構造分析を行い、我が国の建築生産において、あるべきコスト管理のシステムを提案することを目的とする。</p> <p>2005 度はコスト管理に関する基本的概念を整理し、現状のコスト管理の問題点の調査を行う。ワークショップ「ストック時代のコスト管理」を実施する。</p> <p>2006 年度：コスト管理の基本的概念や問題点をまとめた資料を作成する。ワークショップ等で委員会として発表を行う。</p> <p>2007 年度は経済の専門家を交えて、技術的・社会的・経済的側面から見たコスト管理のシステムについて、体系的な整理を行う。</p> <p>2008 年度は建築コスト管理の基礎的研究、技術的研究、社会的研究のそれぞれの領域における研究成果を整理し、報告書及び資料を作成する。</p>	
委員構成 (委員名(所属))	<p>委員公募の有無：あり(今年度は2名追加した)</p> <p>岩松準(建築コスト管理システム研究所)、橋本真一(建設物価調査会)、木本健二(芝浦工業大学)、磯部正(国土交通省 東北地方整備局)、伊藤一義(松田平田設計)、遠藤和義(工学院大学)、大島和義(ナカノフドー建設)、奥山裕史(三井造船)、楠山登喜雄(フタバエンジニアリング)、須田松次郎(建築研究開発コンソーシアム)、中山志メ松(日本設計)、原田誠(OPM)、松本光平(明海大学)、宮内徹(国土交通省 中部地方整備局)、山崎弘貴(フタバエンジニアリング)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	なし	
2007 年度予算	50,000 円	ホームページ公開の有無：あり 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/keizai/cost/

項 目	自己評価
委員会開催数	9 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	なし
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	「コスト管理に関するセミナー」参加者数 20 名程度(2/29 開催予定)(国土交通省東北地方整備局との共催) (資料名)コスト管理に関するセミナー資料集
大会研究集会	なし
対外的意見表明・パブリックコメント等	なし

<p>目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 昨年度に引き続き、当小委員会の当面の懸案である「建築コスト七不思議」について数回にわたり集中的な討議を行い、個別テーマについて議論を深めた。またこれまでの議論を集大成する意図の元に、Q & Aの形式でまとめた資料集のドラフトを作成した。来年度は報告書等としてまとめて公表する予定である。 2. PAQS2007 会議（ニュージーランドで開催；当小委員会から 2 名参加）米国の調達ルールについて、日本の積算体系の未来について、下請法について、その他のテーマに関して、情報交換を行った。 3. 小委員会ホームページのリニューアルを行った。
<p>委員会活動の問題点 ・課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 建築コスト七不思議 Q&A 集の完成 2. 外部（国内外）との情報交換（とくに情報発信が不足） 3. 建築経済委員会の小委員会再編とともに当小委員会も新しいテーマを取り入れることになるが、それに対応した人員構成を検討する必要がある。

* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。